



中高生とともに差別と闘う

『それ本当に必要ですか』

吉成タダシ (うずしおランチ代表)



それ本当に必要ですか

勤務先を異動した春。それまではまったく違う景色を眺めながらの通勤となりました。実は私、基本的に自転車通勤しています。これまでは片道五キロメートルくらいだったのですが、それが一キロだけ伸びて、片道六キロメートルほどになりました。それまでどちらかといえば街中を走り抜けていたのに対し、今は大きな川に架かる長い橋や田園地帯を走り抜けています。それまで見ていた景色とはまったく異なります。でも、それはそれなりに新鮮で気持ちがいいものです。

私が自転車通勤していることを知ると、多くの方が、「すごいですね」とおっしゃいます。もう二十年以上も走っている私からすれば、「いや別に」としか答えようがありません。そんなに苦しいわけでもないし、むしろ心地よいからです。

とはいえ、一応私も車は持っており、利用する場合があります。それは、「TPO」のときです。

T…時間がないとき

P…遠い所に行くとき

O…悪天候、荷物ありのとき

ですから、何が何でも自転車、というわけではありません。そこはフレキシブルに対応しています。その一方で、「どうしてみんなは自転車じゃないの?」という問いもずっと持っていました。

昔、通勤途上の自転車から、車に乗っている人数をリサーチした

ことがありました。たいていが一人です。車に乗らなければ行くことができない人もいるでしょう。それはそれで仕方ないと思うし、私もそう思うと思います。でも、本当にみんなそうでしょうか。五人乗りの車に満員近く乗っているならまだしも、ほとんどがその逆です。化石燃料は燃やすすし、二酸化炭素は排出するし、そのうえ、「最近運動不足で新しくできたジムに通ってる」と言う方までおいでです。膝や腰など体調の悪い方ならいざ知らず、「だったら自転車です体内脂肪を燃やせば?」と勝手に思っています。お金を消費することで、欲求を満たしているのでしょうか。

その昔、海外事情を知らせるテレビ番組で、脂肪分の多いものや甘いものを大量に摂って肥満化し、動くこともままならないような方がダイエットしたり手術したりという場面を見ました。「何と愚かしい」と思っていたものの、今はちゃんと日本もその後追いをしています。欲求のままに生活し、それを補うためにお金を払い…。自分の体に投資すればいいのに…と思います。日本も愚かしい国になったのでしょうか。

人間であることの所以

コロナ禍は、本当に息苦しい毎日でした。それは子どもたちも同じだったと思います。そのときあらためて痛感したのは、人間文化を浴することの大切さです。スポ

ーツや芸術にふれることの必要性です。それによって私たちは夢や希望を感じ、人間社会で生きていくことを実感しました。消費することも人間文化の一つでしょう。でもそれだけでは人間ではあり得ず、人間文化にふれて初めて人間となり得るのだと思います。夢や希望を伴って、初めて人間になり得るのです。

先日、ウルグアイ元大統領ホセ・ムヒカさんが亡くなりました。かつて日本人を評し、「勤勉で、とても優しい人たち。大切な時に団結力を発揮する人々。しかし高齢者が孤独にさいなまれ、若者は夢を持てなくなっている」と聞いた。果たして日本人は幸せなのか」と語ったと言います。幸せの定義はそれぞれですが、日々起こる事件・事故を見ると、今の日本社会はあまりにも大きくバランスを欠いているように感じます。

彼はまた、二〇一二年の国連持続可能な開発会議で、「貧乏な人とは無限の欲があり、いくらモノがあっても満足しない人のこと」と話したそうです。まさしく今の日本社会のようです。本当に人間が人間として、人間らしい生活を営むための国づくり、人づくりとなり得ているのか、今の教育を見ていると思います。

大切なモノを大切に

自転車から見える景色は、車から見える景色とは少し違います。速度が違うからです。ゆっくり進

むことで、日頃見えていなかった草花や空が見え、また風を感じ、豊かな気分になれます。

先日、和歌山県の世界遺産、熊野古道を歩いてきました。車なら数時間で走れる距離を、数日かけて歩くのです。山道に迷うわ、足の小指は血にまみれるわ、雨に降られてずぶ濡れになるわ、それなりに大変な思いをしました。でも、歩くしかないんだから、と一歩一歩歩を進めます。その代わりに、温泉に入ったときに癒される解放感。宿で出される手料理。初めて出会ったご主人たちとの語り。苦勞もあれば、達成感や喜びもあるということを感じます。日常生活では得られない貴重な体験に、日々のありがたさをあらためて感じたものです。

人間とは愚かしい生き物かもしれませんが、大きな自然災害が起きるたび、「絆」とか、「つながり」と言うものの、それが生かされていない現実を目の当たりにするからです。ワガコトとして落とし込んでいえるように思えないからです。ムヒカさんが広島を訪れた際、芳名録にこう書いたといっています。

「倫理を伴わない科学は、想像もできない邪悪なものに利用されかねない。地球上で人間だけが同じ過ちを繰り返す。私たちは過去の過ちから学んだだろうか」

人間は便利を追求しようとしませんが、敢えて不便を選び、大切なモノを本当に大切にできる世の中にバランス修正してもいいのでは、と思います。